

『ひな人形ってどんなものを持っているのかな?』 5歳児 2月 伏見こども園

エピソード

2月の中旬、保育者が子ども達に「もうすぐひなまつりだよ」と声を掛けると「♪明かりをつけましょぼんぼりに～」と歌ったり、「お雛様とお内裏様を飾るんやんな?」と経験から知っていることを話したりしました。保育者が「どんなことがしたい?」と問いかけると「製作でお雛様をつくるのはどう?」など様々な意見が出る中、「OHPを使って何かできないかなあ?」とアイデアを出した子がいました。それに対して「いいやん!楽しそう」「ピーターパンで使ったやつひなまつりバージョンにしようよ」「お雛様の絵をかいて映したら良さそう」と周りの友達も賛成しました。

そこで、玄関にある雛人形を見に行き、どんなものを身に着けたり持っていたりするのかを調べて見ることにしました。「五人囃子は笛と太鼓と、一人は楽器じゃないものを持ってるね」「仕丁は怒った顔と悲しい顔と笑った顔の人がいるね」「牛が荷物を乗せた車を引っ張っているよ」と気付いたことや考えたことを友達と伝え合うことを楽しみました。

保育室に戻るとグループに分かれて、それぞれの役割を絵にかいていきます。「結婚式をしているから金色の屏風だよ」「五人囃子は手に楽器を持たせてあげようね」「雛道具ってたんすがあったよね。中には結婚式の指輪が入っているかもしれないよ」と、由来や意味を理解しながら、友達と力を合わせてかくことを楽しんでいました。

子どもの育ちや学び



ひな人形ってどんなものが飾ってあるのかな?(関心)



演奏していることが分かるように楽器を持たせよう(目的の共有・協力・分担)



タンスの中には指輪が入っているかも(想像)

見て、荷物を乗せた車を牛が引っ張っているよ(気付き・共有)

- ・行事の由来や習わしに関心をもつ中で、自分たちのしたいことを主体的に考え、つくり出そうとする。
- ・本物のひな人形に触れ、自分の目で見て気付いたことや感じたことを友達と共有する楽しさを味わう。
- ・グループの友達で同じ目的をもち、役割分担をしたり協力したりしながら一枚の絵をかく。
- ・結婚式をしている様子であることを理解し、雛道具(嫁入り道具)の中を想像し楽しむ。

保育者の思い

- ・1学期から行事に向けて、どんなことがしたいか考えたり相談したりする経験を積み重ねてきました。ひなまつりの話し合いでも自然と「こんなことがしたい」と思いを伝え、自分達でつくり上げようとする姿が見られたことに成長を感じました。
- ・お内裏様とお雛様だけでなくそれぞれの役割に関心をもち、ひなまつりの由来について知ってほしいと思いました。
- ・友達とどんな風にかくか相談したり役割分担しながらかく姿を認め、協力しようとする気持ちを大切にしました。

家庭だったら・・・

ひなまつりは、病気や怪我から子ども達を守り、健やかに成長できますよという願いが込められています。ぜひ、子どもと一緒にひな人形を見て、語らってくださいね。